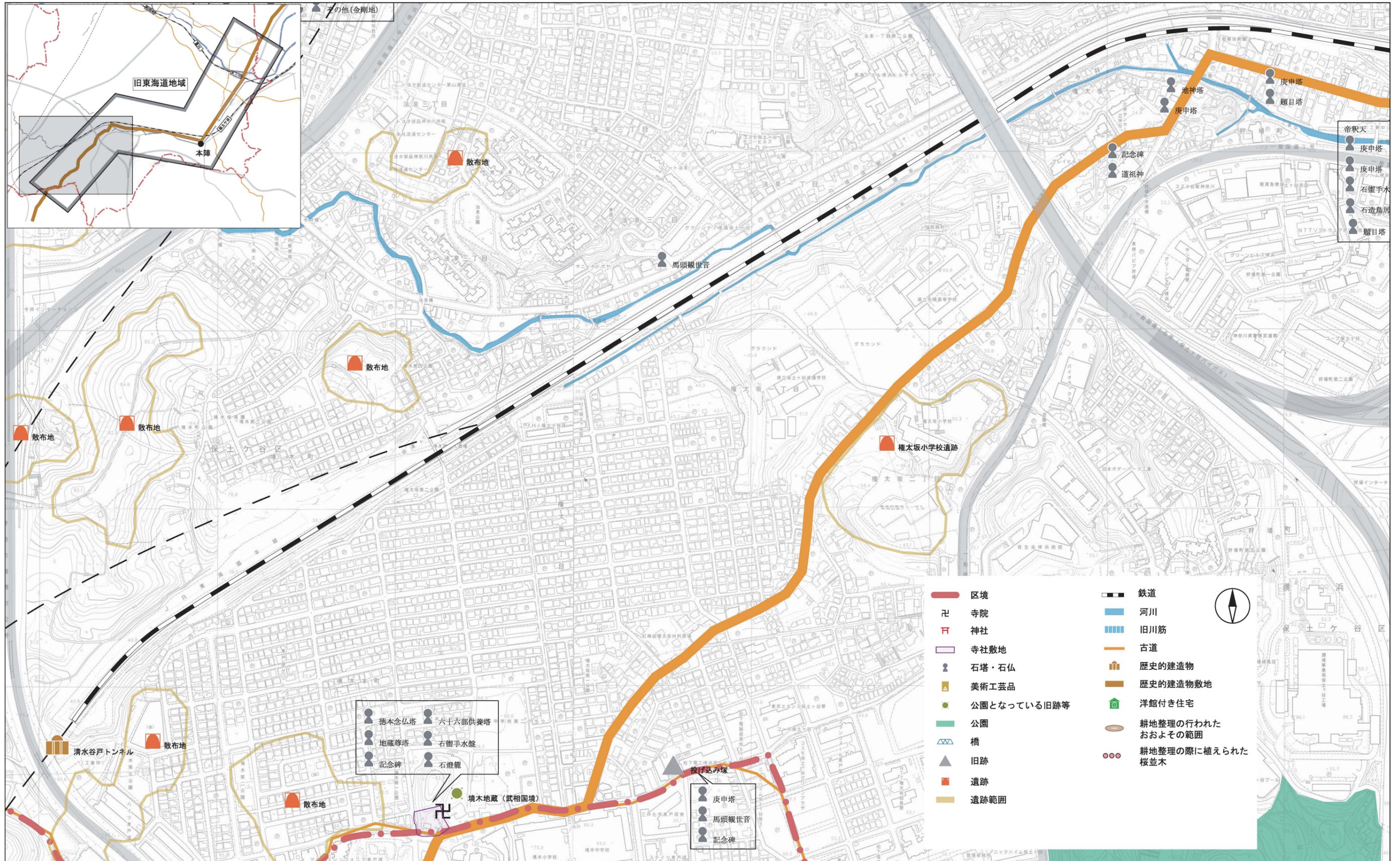


### 3. 旧東海道地域の空間構造

#### 1. 歴史資源の分布

##### 権太坂周辺

●権太坂は旧東海道の中でも難所として有名な名所のひとつであるが、現在は、主に住宅地が広がっており、石碑等の歴史資源は主に境木周辺に集中している。

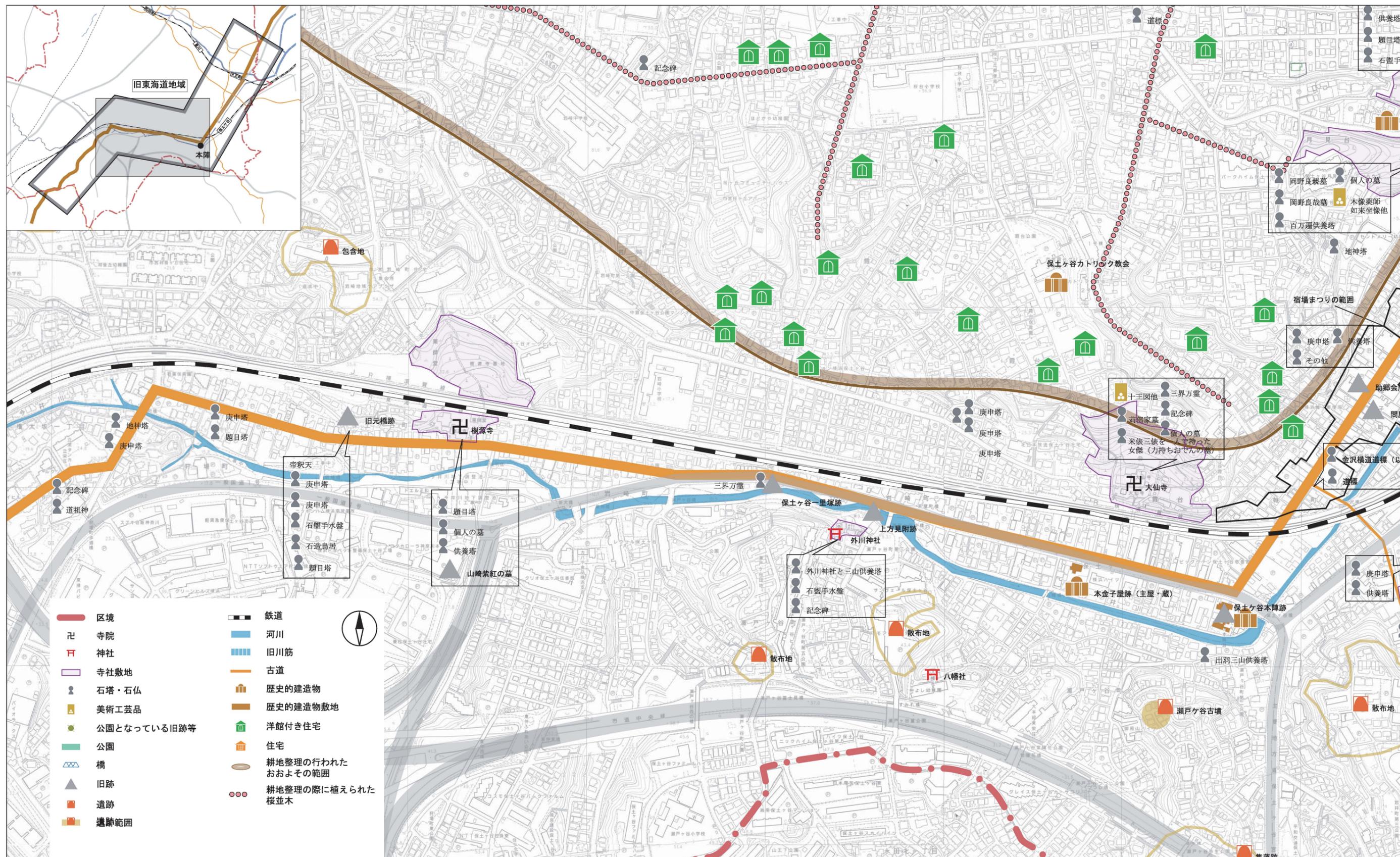


### 3. 旧東海道地域の空間構造

#### 1. 歴史資源の分布

##### 保土ヶ谷町周辺

- 本陣跡や本金子屋跡、一里塚跡、大仙寺、外川神社、樹源寺など、旧東海道地域を代表する歴史資源が分布している。
- 北側の丘には、住宅地が広がっており、洋館付き住宅が多く存在する。



### 3. 旧東海道地域の空間構造

#### 1. 歴史資源の分布

帷子町・岩間町・天王町周辺

- 江戸時代は宿場として栄えたエリアであり、多くの寺社仏閣等の歴史資源が存在する。
- 明治から昭和にかけて、丘の上と帷子川周辺の低地で耕地整理が行われた。丘の上の耕地整理では住宅地が形成され、低地の耕地整理では大規模な工場地帯が形成された。
- 近年では、保土ヶ谷駅周辺の西口商店街と帷子町1丁目さつき会の二つの商店街のエリアを中心に「保土ヶ谷宿場まつり」が行われている。

